

公募テーマの詳細
【共同研究開発型（無償）】

＜テーマ設計の背景等＞

Theme.1	洋上遭難者等の早期発見に資する技術の研究
テーマ設定の背景	ヘリコプターでの傷病者搬送時において、何らかのトラブルにより洋上に不時着水することは、想定されます。 その際に、機体が破損し、搭乗者が機体から洋上に流されてしまう可能性がありますが、海水生存率や救助に向かう時間を考慮すると、洋上に流された搭乗者全員の位置を早期に把握できることが全員の命を守り抜くことに必要です。
現状の課題	航空機の遭難や墜落等の際に、その地点を知らせるための信号を送る装置として、ＥＬＴ（救命無線）の装備が航空法で義務付けられていますが、搭載されているものだけでは、搭乗者一人一人の位置特定はできません。
技術検証のイメージ	・洋上であっても、搭乗者一人一人の位置を特定できる技術 ・技術によっては洋上以外（山岳等）での研究も実施
採択する企業の目安	若干数
当庁から提供可能なリソース等	当庁の運用するヘリコプター、消防職員による実証等
想定する技術等の一例	最新の通信技術を活用した小型船舶やダイバー等の位置把握に使用されている端末装置

＜スケジュール（予定）＞

企画提案書受付期間	２０２６年６月１８日から６月３０日１２時００分まで （質問受付期間：６月１８日から６月２９日まで）
審査期間	２０２６年６月３０日から７月上旬頃まで
結果公表	２０２６年７月上旬頃
契約締結期間	２０２６年７月上旬頃
研究期間	最長１年間
報告書の提出	契約期間終了時まで